

港区立青山小学校 各教科の授業改善推進プラン

国語	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 話を最後まで聴く力が弱い。 文章を書く力が弱い。 説明文の読み取る力が弱い。 漢字や平仮名の習得力が低い。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 聴く時のルールを日常的に指導する。 ペアやグループになり、相手の意図を汲み取りながら聞き、話の内容に沿った質問をさせる指導を重ねる。 書く内容を明確にさせ、材料集めのための支援と材料の取捨選択の仕方を理解させる。 目的に応じた文章構成の在り方を理解させる。 必要な情報を正確に取り出す力を身につけさせるためにサイドラインなど引かせながら読ませる。 学習活動全般で漢字や平仮名を意識させる。 教室の言語環境を整える。 定期的なテストを実施し、繰り返しながら習得を図る。
社会	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地図や資料の読み取り力が弱い。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 地図や資料を読み取り方の視点を明確にした指導と共に読み取り後のまとめを習慣化させる。 資料を読み取る際、ペア活動なども取り入れながら、「なぜだろう」という問いを見出す経験を積み重ねる。
算数	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 算数への関心・意欲・態度を高める。 数学的な考え方が弱い。 基礎的な内容の理解、技能の定着が十分ではない。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 具体物や体験を通して理解できるようにさせる。 I C T機器を活用し、教材の視覚化や思考プロセスの共有化を図る。 対話（説明活動）を重視し、表現力と思考力の向上を図る。 学習時に既習事項の確認を行う指導と共に家庭学習時に前学年の内容のプリントを課題として取り組ませ定着を図る 習熟度に応じたワークシートや東京ベーシックドリルなどを活用する。
理科	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の思考過程の身につきが弱い。 結果をまとめる力が弱い。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 課題、予想、実験・観察、結果、考察、結論の流れを明確にした指導を積み重ねる。 実験や観察内容からどのようなことが言えるのか書く視点を明示し、思考力や表現力の育成を図る。
生活	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 体験や観察などを通して気づいたことを表現する力が弱い。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動から生まれる気づきを大切に、比較や例えたりしながら、表現方法の指導と共に、自分で考えて表現する活動を繰り返させる。

港区立青山小学校 各教科の授業改善推進プラン

音楽	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情景や気持ちを想像したり自分の思いをもったりして歌えるが、それを身体表現することに課題がある。 ・音符や休符、記号や音楽にかかわる用語についての理解に課題がある。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の感性や創造性を発揮できるようにするため、具体物の提示や音や映像、より一層イメージを自由に膨らませることができる環境を整えていく。また、子供の良さを認め心を開放して学習できる環境づくりをする。 ・表現や鑑賞の各活動を通して意図的に常に取り上げ、繰り返し指導することで理解、定着させより豊かな音楽表現の深まりにつなげていく。
図画工作	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで造形活動に取り組んでいるが表現する力が十分に身についていると言えない。 ・感じたことや思ったことを豊かに表現する力が身についているとは言えない。 ・進んで造形活動に取り組めない。 ・表現に合わせて材料や用具を安全に使用して表わす力が身についているとは言えない。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の基本的な使用方法が身に付くように題材設定を工夫する。 ・題材設定を工夫し、材料や用具の使用方法を効率的に教授していく。(基底材や描画用具の基本的な知識を理解させる。) ・楽しく制作することができる題材を設定する。 ・材料や用具の安全指導、管理の徹底を行う。
家庭	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能の身に付きが十分ではない。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、手順や作業の手本を視覚的に分かりやすくした指導に取り組む。 ・学習した内容が家庭の中でも実践できるよう保護者と連携していく。
体育	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対する関心・意欲・態度を高まりが十分ではない。 ・自己の課題を見つけながら運動に取り組む力が弱い。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・場の設定や運動特性に応じた視点を与えて取り組ませ、個に応じた指導を図る。 ・学習課題のスマールステップ化、めあてカードなどを活用し、意欲を高め、継続できるような工夫に取り組む。 ・他の自己を比較しながら、自分の課題に気づくことができる授業展開に取り組む。
国際	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルの身に付きを高めること。 ・文字と音の結び付きが十分ではない。
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や言い回しを取得できるようにアクティビティを中心とした指導を積み重ねる。 ・アクティビティが単にゲームなどで終わってしまわないように、目的や目標について日本語で理解させる。 ・フォニックスの指導の充実を図る。